

令和 5 年 8 月 18 日
独立行政法人 国際協力機構
情報システム部

民間競争入札実施事業
「(独) 国際協力機構 コンピュータシステム運用等業務」
実施要項 (案) の変更について

1. 経緯

- 令和 4 年 12 月 26 日：入札監理小委員会にて承認
令和 5 年 6 月 14 日：官民競争入札等監理委員会（第 296 回、以下「本委員会」という。）にて議了
- 同議了後、当機構内にて入札公告に向けた決裁を進めている中で、当機構調達担当部署より「(議了済の) コンピュータシステム運用等業務の民間競争入札実施要項 (案) に当機構の現在の調達書類雛形に合致していない記載があり修正が必要」との指摘があった。当部と調達担当部署とで協議を行い、同指摘に基づき修正することとし、同修正について本委員会での審議をお願いすることとなったため、入札公告が当初スケジュール（令和 5 年 6 月下旬）より後ろ倒しとなった。

2. 修正ポイント

実施要項 (案) の主な修正ポイントは以下のとおり。

なお、本件と同様の修正方法(当機構の調達書類雛形を民間競争入札実施要項(案)に反映する)をとった事例として第 273 回本委員会（令和 3 年 11 月 17 日）にて議了済の（同じく当機構で市場化テスト対象である）「JICA 国際協力エッセイコンテスト運営管理業務（2022-2025 年度）」がある。

- 今回の修正は当機構の現在の調達書類雛形に合わせたもの。修正前と比較して入札参加資格、業務内容、要件については基本的な変更がないため、応札可能者の範囲に変更はなく、公平性・競争性も担保されている。
- 「4 入札参加資格に関する事項」の更新：現行の調達書類雛形に合わせて記載の更新、追記および削除を行った。
- 「6 本業務を実施する者を決定するための評価の基準その他本業務を実施する者の決定に関する事項」の更新：現行の調達書類雛形に合わせて「総合評価落札方式(加算方式)」として技術評価と価格評価の評価方法を修正。同修正に合わせて実施要項(案)別添 2「評価基準書」の記載も修正した。
- 当機構の調達書類雛形に合わせて必要な記載事項を追記：「5 入札に参加する者の募集に関する事項」の「(2) 書類等の提出先」から「(17) 入札方法」までを追記
- 業務仕様書(案)に関しては、業務内容・要件に変更はないため本委員会で議了済み内容からの修正はない。

3. スケジュール変更(案)

<当初予定>

入札公告（官報公示） 令和 5 年（2023 年） 6 月下旬頃

入札説明会	7月中旬頃
質問受付期限	7月下旬頃
資料閲覧期限	8月中旬頃
技術提案書提出期限	8月下旬頃
入札参加者によるプレゼンテーション	8月下旬頃
技術提案書の審査	8月下旬頃
開札及び落札予定者の決定	9月中旬頃
契約締結	9月下旬頃

<変更後の予定（本委員会再審議が8月中旬に了した場合）>

入札公告（官報公示）	令和5年（2023年）	8月下旬頃
入札説明会		9月中旬頃
質問受付期限		9月下旬頃
資料閲覧期限		10月中旬頃
技術提案書提出期限		10月下旬頃
入札参加者によるプレゼンテーション		10月下旬頃
技術提案書の審査		10月下旬頃
開札及び落札予定者の決定		11月中旬頃
契約締結		11月下旬頃

4 再発防止策

資料作成初期段階から、調達仕様書（案）に加えて実施要項（案）全体についても機構内関係部署と内容を共有し、コメント等を適時反映する。

以 上